

「広津よ永遠に」シリーズ その2 2010.11.20

(広津の紹介)

長野県北安曇郡池田町は高瀬川を挟み松川村の隣。人口 10700 人。大阪の池田市や北海道、岐阜など 1 市 6 町で「池田町サミット」も開いた。昔は養蚕製糸業が盛んで栄えた。池田鉄道もあった。町立美術館やあずみの池田クラフトパークからの北アルプスの展望は素晴らしい。

広津の一般的な家



広津足沼からの鹿島槍と爺ヶ岳



近年北アルプス展望トレッキングコースとして町も宣伝している。ハーブセンターや夢農場などハーブの花が多い。山間過疎地として「山桜」で有名な陸郷地区と広津地区がある。特に「広津」は旧広津村とは言え、多くの住民が生活に便利な池田町部や松川村へ転居し、過疎化が進み今では 20 位の集落に 85 戸位。高齢化が進み、一人住まいも多い。空いた家に、都会からやってきた人達も 15 戸位。別荘として利用している家も 10 戸位。転居して廃屋も多い。又町部へ転居したが、畑が残り農作業に昼間のみ居る家。夏場は泊まる家など色々。転入者も画家、陶芸家など多彩。昔は蚕を飼い、梅を出荷し、タバコを栽培し、ドクダミを出荷したようだ。車で JR 大糸線信濃松川駅から 10~20 分。豊科 IC から 20~30 分。と交通の便も悪くない。それでも「広津」には「昔」が残っている。不思議な土地である。日本昔話、ふるさとの原型のような風情の地である。

11 月 3 日の大カエデ



広津に何とバナナの木が



四季がハッキリし季節感に.富んだ地でもある。冬の雪、暖かくなると「福寿草」がアチコチで咲き、フキノトウも多く、タラノメ、蕨、筍も多い。山桜が咲き、シラネアオイの群生地も。カミツレの花が咲き、梅、栗が実る。きのこも多い。熊、鹿、猿、ハクビシン、キツネ、蛇、山鳥、キジ、リスなどが生息している。明治 8 年に北山村、宇留賀村、大日向村が合併し広津村になった。昭和 32 年に広津村は池田町、八坂村（近年大町市に合併した）、生坂村に分村合併した。標高は 700~1000M位。県道が尾根上を通り、幾つかの下り坂の町道で各集落にたどり着く。